

高齢者の健康増進対策をどうするのか

健康診断と体力づくり運動を普及したい



中倉 毅議員

大崎町も高齢化率が30%近くなり、町民の健康問題が大きな課題となってきた。町民の健康を守る観点からどうするか。

基本検診の受診率
73%を80%にしたい

町長

町民には毎年、健康診断を受診するように呼びかけを実施しており、さらに受診率を伸ばしたい。

料金値上げの理由は

中倉議員

平成18年度の基本検診の料金が70以上を除いて、すべて値上げになっているが、

他市町と同等にした

町長

志布志市や曾於市と同等の料金に引き上げた。

町民への説明は

中倉議員

各戸に配布されたピラでは、値上げの理由の説明がない。

検診会場で説明する

町長

受診申込書には、値上げ金額を記入しており、町民には理解を求めているが改定の理由はして

ないので、今後検診会場で十分説明したい。

プロジェクトの実態調査の結果は

中倉議員

マスターズプロジェクトに多くの予算を使っているが、実態調査をしているが、その結果を町民に公表しているのか。

町の福祉政策の基礎資料としている

町長

実態調査の結果は公表していないが、町の福祉政策の基礎資料としている。また、下肢筋力の対策や閉じこもり予防のため、体力づくり運動が重要であるという結果が出ているので運動を普及したい。

健康運動普及推進員の活動はボランティアか

中倉議員

町長はマスターズプロジェクト事業を踏まえ、健康運動普及推進員25名を委嘱されている。今後もボランティアで要請されるのか。

活動費を予算化する

町長

マスターズプロジェクト事業の趣旨を踏まえた場合、大学や行政だけでは町民の高齢者対策は無理である。健康運動普及推進員の活動をお願いしたい。平成18年度の健康運動普及推進員の活動費については、報償費として72万円を予算化する。



頭も体もスッキリ（健康運動普及推進活動）